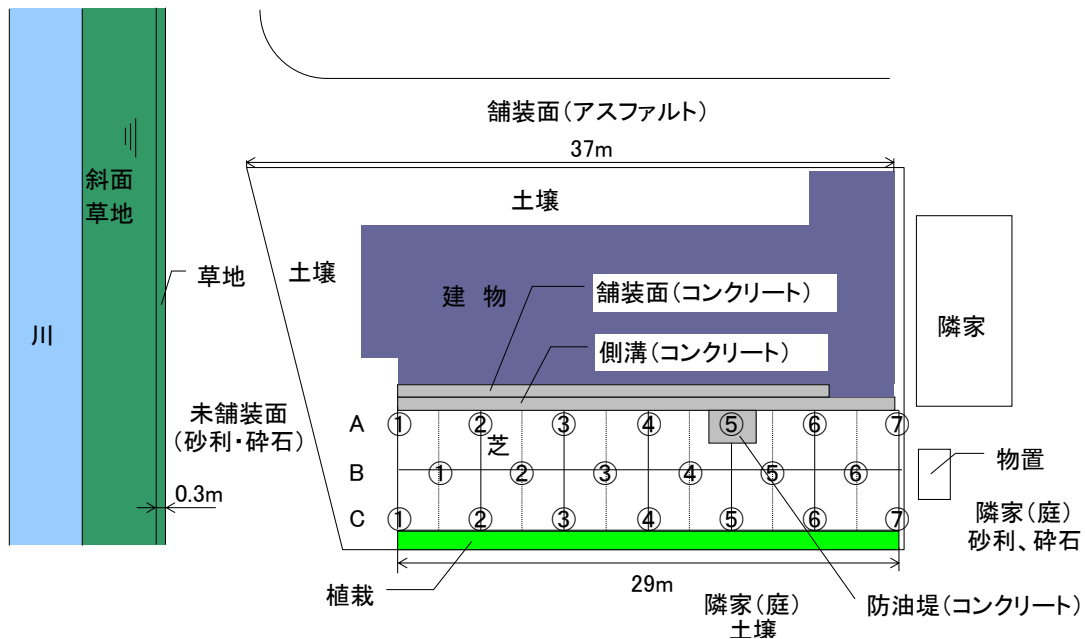


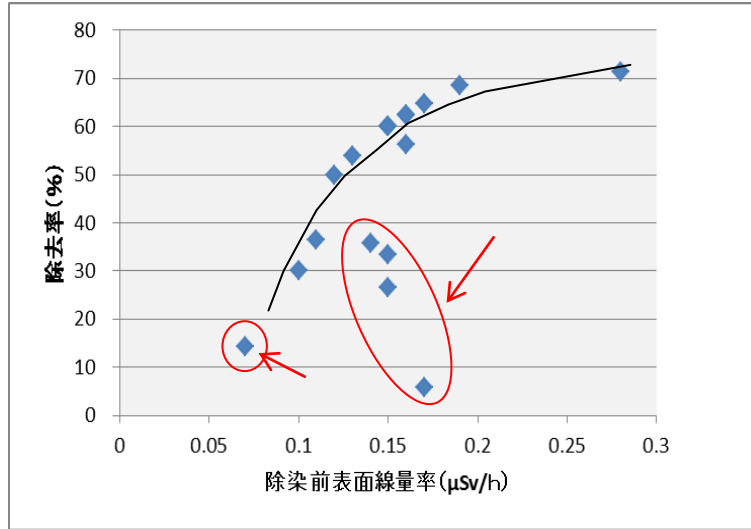
資料 9 除染対象物の材質や周辺の影響を受けている場合のデータの取扱い例

川内村において芝地の剥ぎ取りを実施した。芝地の測定位置を資図 9-1 に示す。測定位置は A①～A⑦、B①～B⑥、C①～C⑦の 20 地点である。測定器は NaI シンチレーションサーベイメータで、コリメータしたデータである。20 地点の除染前後の測定結果を資図 9-2 に示す。各測定位置の除染前の値を昇順にして並べデータ番号をつけ、それと対となる除染後の値もプロットした。資図 9-3 は除染前の表面線量率と除去率の相関である。資図 9-2、資図 9-3 に赤○で示すように他のデータと離れたデータがある。これらのデータは A⑤のように芝地とは材質が異なる側溝コンクリート上であったり、C のように除染範囲の境界近傍であり、民家側に近く植木や草などの影響がある位置と推定される。したがってこれらの位置における除染後の測定結果は、除染の効果とは違った影響を受けていると考えられる。

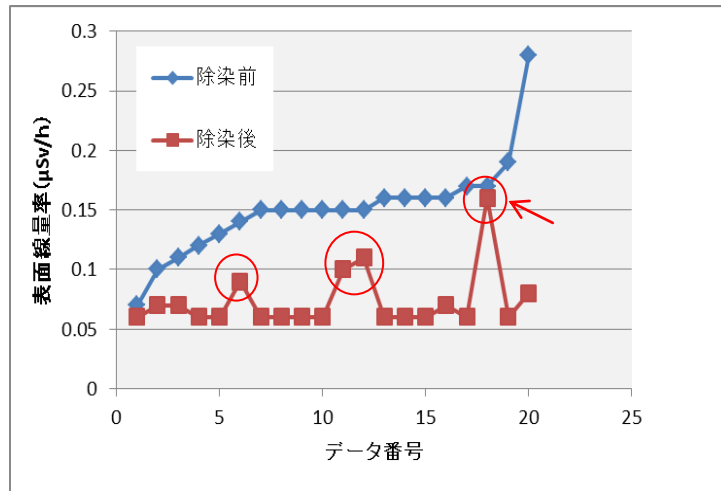
A⑤及び C のデータ以外の結果をプロットしたものが資図 9-4、資図 9-5 である。このように、同じ材質、周辺の影響がない地点で評価するとばらつきがないことがわかり、当該除染が適切に実施されたと判断できる。



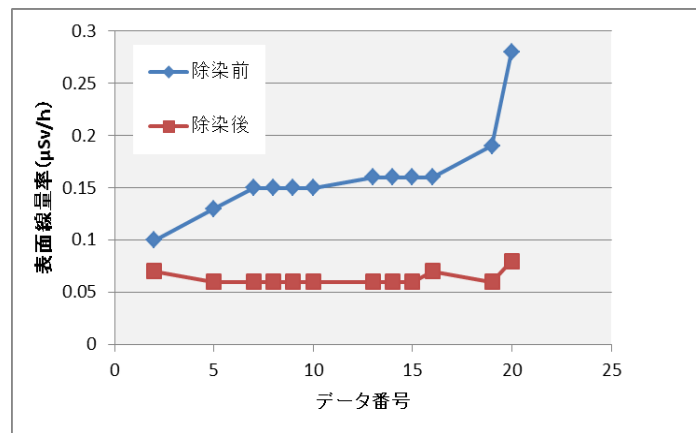
資図 9-1 芝地の測定位置



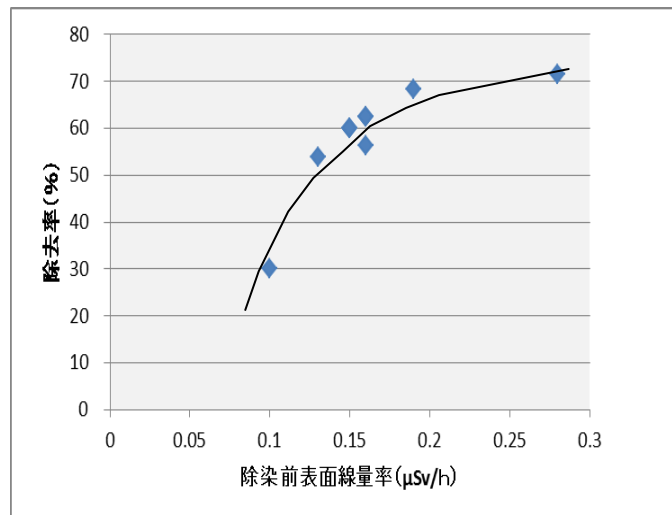
資図 9-2 除染前/除染後の 1 cm 高さの空間線量率
(20 地点 (同値で重なっているデータ含む))



資図 9-3 1 cm 高さの線量率と除去率の相関 (20 地点)



資図 9-4 除染前/除染後の 1 cm 高さの空間線量率 (12 地点)



資図 9-5 1 cm 高さの空間線量率と除去率の相関
(12 地点 (同値で重なっているデータ含む))